

# 自ら学ぶ力を身につけよう

**千**屋小学校と千畑南小学校、千畑中学校の3校は文部科学省から「学力向上実践研究推進事業」推進校の指定を受け、平成20年度から積極的に児童生徒の学力向上のための取り組みを行っています。

これまでどのようなことを行い、どのような成果が得られたのか、また、この事業を通して見えてきた今後の課題をご紹介します。

## 「学力向上実践研究推進事業」とは

文部科学省の「学力向上実践研究推進事業」は推進地区の児童生徒の基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させることを目的としています。また、習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力と判断力、表現力その他の能力を幅広く、主体的に学習に取り組み態度を養うことも目指しています。

推進地区の児童生徒の学力向上のためには地域全体で取り組む必要があったことから、千屋小学校と千畑南小学校、千畑中学校の3校は平成20年4月に「千畑地区学力向上推進校連絡協議会」を組織しました。協議会では研究テーマとして「学びの力を身につけ、豊かに生きる千畑の子」を掲げ、児童生徒が「学習習慣」と「基礎・基本」「学ぶ意欲」を身につけるように連携して指導に当たっています。

## 「学習習慣」と「基礎・基本」「学ぶ意欲」

「学習習慣」と「基礎・基本」「学ぶ意欲」

が身に付けてきている」「自信をもって自分の考えを書き、伝えることができる児童生徒が増えてきている」という声が学校現場から挙がっています。その一方、「自分の考えを伝えたり発表したりする力は付いてきているが、友達の見解から自分の考えを練り直したり互いに深め合う段階には至っていない」という分析もあります。また、「既習事項を生かして課題を解決していく」「活用する学習」のあり方を研究する必要がある」という指導者側の課題も見えてきました。

児童生徒にとっても教師にとっても課題の見えた、実りある事業になりました。

## 「千畑地区学力向上推進校連絡協議会」からの提言

「学力向上実践研究推進事業」は今年度で終わり、事業成果のまとめはこれからになります。各学校ではこの事業に取り組んで見

は「学びの力」を結実させるために重要です。「学習習慣」は家庭の協力を得ながら学年に応じた基本的な生活習慣や学習の仕方指導していくこと、「基礎・基本」は各教科の基礎事項・基本事項を明確にして指導方法や指導体制の工夫によって効果的な指導を行うこと、「学ぶ意欲」は授業中に課題を考えさせたり、「学び合い」を取り入れた授業を繰り返すことで主体的に学ぶ意欲を育てることを目指しています。

具体的な取り組みとして、聞く、話す、書く、読む力の学年別目標をまとめた「学習スキル表」と、家庭学習の目標と技術的助言を示した「家庭学習の手引き」の作成、児童生徒の交流、協議会報「せせらぎ」の発行などを行っています。

## 児童生徒の変化と今後の課題

事業開始から2年が過ぎ、各学校では児童生徒が変わりつつあることを感じています。「授業が楽しい」「勉強が好きだ」と答える児童生徒の割合が増加している。「発達段階に応じたノートづくりの指導を徹底したこととで自らの力で課題を解決しようとする姿勢

児童生徒の基礎学力が向上したと感じています。特に効果があつたのは、目標・目的を具体的に表した「学習スキル表」と「家庭学習の手引き」の導入です。「家庭での学習習慣と自主性が身に付いてきている」「ポイントを押さえて、聞く・話す・書く・読む」という意識が高まっている」という児童生徒の変化をもたらしたのは、これらの活用によって、寄るところが大きいと協議会では分析しています。

この成果を踏まえ、協議会からは千畑地区だけではなく美郷町内の小・中学生全てでこの「学習スキル表」と「家庭学習の手引き」を活用してはどうかという提言がありました。参考書や問題集のページ数のような数値の目標ではなく、個人の習熟度を上げるために日々の学習へ取り入れてみてはいかがでしょうか。

## 3校合同自主公開を開催します

【研究主題】「学びの力を身につけ、豊かに生きる千畑の子に」

【内容】

①公開授業	千屋小学校 国語、算数、総合的な学習の時間
	千畑南小学校 国語、算数
	千畑中学校 国語、社会、数学、理科、英語、美術
②分科会	小学校：各校で教科等別部会 中学校：テーマ別部会
③パネルディスカッション	「一人一人の学びの力を伸ばすために、学校・家庭・地域の連携はどうあればよいか」

開催日●11月5日(金)  
会場●千屋小学校、千畑南小学校、千畑中学校

## ～各校の取り組み～

### 千屋小学校

学ぶ喜びを知り、進んで追究する子どもの育成

～かかわり合い、高め合う子どもの姿をめざして～



- ①「プラスワン(もう一つふみだして)の話し合い方」を通して表現力を鍛え、自分の考えを意欲的に発信できる力を育てている。
- ②自分の考えをしっかりともち、友だちとかかわり合う中でその考えを深めたり広げたりし合いながら、互いに高め合う学びの力を育てている。
- ③折にふれて学校報や学年報やPTA懇談会の資料等で取り組みについて知らせ、学力向上に向けて家庭と連携して推し進めている。

### 千畑南小学校

たがいに高め合う子どもの育成

～思考力・表現力を高める指導方法の工夫～



- ①確かな学びにつながる「学び合い」を生かす
  - ②文章や資料を正しく読み取る力の育成を図る
  - ③学習した知識や技能を、他の学習で活用できる力の育成を図る
- 上記の3点を柱として指導方法に工夫を凝らしている。また、授業時間だけでなく、朝のスキルタイムや昼の読書の時間、家庭学習の継続と充実、国語や算数のおもしろさやよさにふれる「コーナー」の設置と更新など全ての活動にわたって協力して取り組んでいる。

### 千畑中学校

生きる力を支える基礎・基本を養い、学び合いが深まる指導

～生徒がのりだし、考え、ねり合う授業の工夫～



- ①各教科の基本的な授業過程を「のりだし・よむ・考える・伝え合う・まとめる」とし、学習意欲を高め、学び合いを通して思考を深め達成感を味わわせている。
- ②「授業・自学の時間(帰りの会前15分)・家庭学習」を効果的につなげ、主体的に学ぶ力を高めている。
- ③学習の基本となる「聞く、話す、書く、読む力」の基礎を国語で培い、他教科で育てている。

## ■家庭学習の手引き

学びの力を身につけ、豊かに生きる千畑の子に	
家庭の取り組み	めざす姿
<b>【自己伸長を大切に】</b> 学習の仕方を振り返り、自分に合った学習計画や学習方法を検討し実行させましょう ・将来の進路のことも考えて、自主的に家庭学習ができるよう励ましていきましょう。 ・時間を有効に使い、計画的に取り組むようアドバイスしてあげましょう。	授業を振り返り、計画を立て、実行できる 学習内容の定着や発展のために、自分に合った学習の仕方を考え取り組むことができる 不得意教科の克服に努力することができる
	<b>【自主性を大切に】</b> 自分で選択したり、工夫をしたりしていることを大いに認め、達成感や成就感を味わわせましょう ・自分の目標をしっかりとめさせましょう。 ・自分のペースでじっくり取り組ませましょう。
<b>【自立の芽を大切に】</b> 自分でやろうとした時は大いにほめ、やる気を育てましょう ・何を勉強しているのか子どもに聞いて、声をかけましょう。 ・自分で取り組もうとする姿勢を積極的に励ましましょう。	一人勉強の仕方や内容を知り、自分で調べたり学習したりすることができる ドリルやプリント学習では自分で答え合わせをし、間違いを訂正できる 自分で興味・関心のあることを調べることができる
<b>【やる気を大切に】</b> 家庭学習をする時間を決め、寄り添うなど近くにいるあげましょう ・分からないところを聞いて、やり方を教えてあげましょう。 ・あたたかく励ましてあげましょう。 ・やったことは、しっかり見届けてほめてあげましょう。	毎日、家に帰ったら決まった時間に勉強することができる 学校で習ったことをもう一度復習し、より正しく覚えることができる 一人勉強に挑戦することができる

※推進地区で使用しているものとはデザインが異なります。

## ■学習スキル表

	小1・小2	小3・小4	小5・小6・中1	中2・中3
聞く	話す人におへそを向けてよく見て聞く	話し手を目を見て、心に向けて聞く		
	最後まで話をしっかり聞く	うなずいたり、あいづちを打ったりしながら聞く		うなずいたり、あいづちを打ったり、疑問をもったりしながら聞く
話す			自分の考えや経験と比べながら聞く	話し手の意図をとらえ、自分の考えと比べながら聞く
			大事な言葉(友達や先生などの)をメモしながら聞く	大事な言葉や5W1Hに注意したり、メモしたりしながら聞く
書く	みんなに聞こえる大きな声で話す	場にあった大きさの声で話す		状況や内容に応じて、声の大きさや速さ、抑揚に気をつけて話す
	下を向かないで、顔を上げて話す	考えを言ってから、理由を話す		相手の意見を認め、自分の考えをさらに深めて話すことができる
読む	「～です。」「～ます。」「～まで」	「はじめに」「つぎに」「さいごに」や「一つ目は」「二つ目は」など、順序を表す言葉を使って話す	相手の考えを引用したり、例を示したりして話す	順序立てて、例示などの工夫をしてわかりやすく話すことができる
	せすじを延ばして、ていねいな字で書く			正しい文字の形に注意して書く
読む	順序よく書く	まとまりごとに段落をつけて書く	理由を明らかにして自分の考えを書く	自分の考えの根拠を明らかにして、事実と意見(感想)に分けて書く
	「だれが」「どうした」が合うように書く	自分の考えを絵や図などを使ってかく		絵や図など、客観的な根拠を示しながら、自分の考えを書く
読む	大事な言葉や数字に線を引く	文章や資料から、大事な言葉や数字を見つながら読む		文章や図表など様々な資料から内容を的確に読み取る
	リズムに乗って楽しく音読する	言葉のまとまりに気をつけてていねいに読む	文のまとまりを考えながら読む	読みながら必要な情報を集める
読む	「」は一つ、「。」は二つ休みながら、ていねいに読む	登場人物の気持ちや場面の様子が伝わるように、声の調子(強さ・大きさなど)に気をつけて読む		場面や内容に応じて、声の調子に気をつけて読む

※推進地区で使用しているものとはデザインが異なります。